

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度の実績評価)

記入年月日  
令和2年4月1日

事務事業名			防災訓練・防災意識啓発事業			事業区分		担当	
				新規/継続	単独/補助	単独	事務事業No.	030101000668	
政策体系上の位置付け							所属課		
総合計画の施策名					0301		020801		
政策名					03		防災課		
施策名					01		課長名		
手段名					01		グループ		
							担当者名		
							防災		
財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	01	09	01	04	01	00	災害対策事業		
法令根拠							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市の地域防災計画に基づき、地域において災害を想定した防災訓練を実施することにより市民の防災意識の高揚と災害への対応力の向上を図る。</p> <p>また、市民に広く防災の重要性を理解してもらい自ら防災についての行動がとれるように資料の作成及び施設の設置を行う。</p>	<p>自治会や小学校等関係機関との打合せ、市民への広報、訓練の実施。</p> <p>平成27年度は総合防災訓練実施のため、休止した。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市内において防災訓練を行う。	防災訓練	回	13.00	13.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民	人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
防災に対する意識を高める。	訓練参加者数	人	1,723.00	1,610.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

				30年度	01年度	02年度	期間限定総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	118	43	42	0
	事業費計(A)	千円	118	43	42	0		
人員	正規職員従事人数		人	3.00人	3.00人	3.00人		

01年度事業費 実績 (千円)				02年度事業費 予算 (千円)			
19 負担金補助及び交付金		43		19 負担金補助及び交付金		42	
		合計	43			合計	42

事務事業名	防災訓練・防災意識啓発事業	事務事業No.	30101000668	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 防災訓練は平成17年10月の町村合併により地域防災計画が改定されたことにより開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 大規模災害の発生が懸念されている。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民が防災意識を持つことで減災につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の生命財産を守るための訓練であり、市の関与は妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市民一人一人が被災のリスクを認識し、防災の意識を持てるよう仕向ける必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の防災意識の低下、災害対応力が低下する。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段はないと思われる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の費用で実施している。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民が対象で公正である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																							
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市が主体となって事業を行うだけでなく、市民の自助により減災ができるように啓発を行っていく。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 東日本大震災から9年が経過し、災害に対する市民の意識が低下傾向にあるので、啓発事業の充実を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果	①																						
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項																							
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)																						
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>																						